

証拠標本

【兵庫県】〈神戸市〉北區藍那 (N. Fukuoka 9757, KYO・SHO・OSA; N. Kurosaki 9381, KYO・SHO; T. Kobayashi 19197, SHO)、六甲山 (T.K 865, SHO)、西區木津 (T.K 17986, 18631, SHO)、北區道場 (S. Hosomi 17670, KYO; T. Umehara 3485, OSA; T.K 18958, 19084, SHO) 〈西宮市〉武田尾 (T.K. 19596, SHO・KYO) 〈赤穂郡〉上郡町富満溪谷 (M. Kuribayashi 204, OSA; Fujii & Kuribayashi 2782, KYO; T. K 19061, SHO・KYO) 〈津名郡比淡町〉津名山地 (T.K 18778, 11055, SHO・KYO)、仁井 (T.K 19466, SHO・KYO)、釜ノ口 (T.K 18585, SHO)

【熊本県】八代郡泉村 (T. Tomita 1295, KYO)

【長崎県】肥前多良岳 (Z. Tashiro, KYO)

なお標本庫の略号は各々KYO (京大)、SHO (頌栄短大)、OSA (大阪市立自然史博物館) を示す。

文 献

福岡誠行・黒崎史平 1979. 藍那地区自然環境調査 種子植物. 兵庫自然保護協会鈴蘭台支部.

藤田 昇 1976. 日本産ギボウシ属. 植物分類地理, 27 (3-4): 66-96.

小林篤樹 1989. カンザシギボウシが淡路島にもあった. レポート日本の植物 No. 39: 193-194.

室井 綽 1983. カンザシギボウシ. 兵庫県大百科事典 (上) 607.

○ 北陸のヒナノシャクジョウ (里見信生) Nobuo SATOMI: New Locality of *Burmammia championii* in Hokuriku District.

本誌の前号に、鳥島昭信氏はヒナノシャクジョウを、石川県能美郡辰口町で採集したことを報じた。これは本種が、石川県内で始めて発見された記録であるばかりでなく、日本海側においても全く新しい。

ところが、小野ふみゑ氏は平成3年9月4日、石川県江沼郡山中町で採集された。石川県内で、奇しくも時を同じうして見出されたことは何とも因縁深いことである。

○ 愛知県緑化推進委員会編 あいちの名木 愛知県緑化推進委員会 (〒460 名古屋市中区三ノ丸3丁目1番2号愛知県農地林務部自然保護課内), 平成3年6月発行。A4判, 104頁。

県下の市・町・村から推薦された巨木・名木の中より104点を選び、一書にまとめられていて、それぞれの樹はカラー写真に、樹種・樹齢・樹高・幹周・所在地・所有者・来歴が記されている。

樹種別にみると、クスノキ19本が最も多く、スギ12本、クロマツ10本、シイノキ8本、ケヤキ6本、イチョウ・ムクノキ各5本、イブキ4本、クロガネモチ・タブノキ各3本、アベマキ・イチイガシ・カヤ・シダレザクラ・ナギ・ヤマザクラ各2本、イチイ・イヌマキ・エノキ・コウヤマキ・サワラ・シラカシ・センダン・ソテツ・ツクバネガシ・トチノキ・ハマセンダン・ヒノキ・フジ・ボダイジュ・ホルトノキ・ヤマモモ各1本であり、天然記念物指定では国指定8件 (名古屋城のカヤ・津島の大椋・神明社の大椎・杉本の貞観杉・甘泉寺の高野槇・木久保のナギ・御油の松並木・清田の大クス) の他、県指定10件、市指定14件、町指定26件・村指定4件が載録されている。

○ 湯浅保雄・松村きみ編 静岡県の巨木 静岡植物研究会 (〒422 静岡市大谷3800-70), 平成3年10月15日発行。A4判, 360頁。

本書は昭和63年度行なわれた全国巨樹・巨木林調査のデータ等を、パソコン等を駆使して、環境庁の報告書と別の視点からまとめたと言っている。内容の概略は最初に、153枚の写真と地図で、その容姿と所在地をしめし、つづいて静岡県の巨木の現状と特徴、太さベスト100、天然記念物について述べ、以下、市町村別・樹種別一覧表、調査担当者名簿、参考文献ならびに文献となっている。(里見信生)